写

三年

画数 5
筆順 冖 冖 写 写
オン シャ
クン うつ＝す＝る

成り立ち

さじでたべものをすくって〝あたえる〟ことをあらわした〝与〟と、家の形をあらわした〝宀〟の〝丶〟をはぶいた〝冖〟とを組み合わせて作った字で、「家を与えてやって、そこに〝うつす〟こと」をあらわした字です。〝移す（5年651）〟という字と同じいみの字ですが、今は〝書きうつす〟とか、「写真をうつす」というばあいの〝うつす〟といういみにつかわれます。

〔旧字体は〝寫〟。鵲（なきさ）の本字の〝舄（鵲の象形）〟と〝宀〟との会意・形声字で、「とらえた鵲を家の中に移す」という意味で〝移す〟ことを表した字である。〕

使い方

▽ぼくはカメラを買ってもらったので、さっそく犬のポチを写してみました。写真ができ上がるのがたのしみです。

▽わたしは絵を書くのはすきですが、写生はとくいではありません。

熟語例

▽写真（シャシン）（ほんとうのすがた〔真（まこと）〕を写す、といういみのことばです。カメラでうつしたフィルムを現像（ゲンゾウ）して作ります。真のすがたを写しているので〝写真〟という名前をつけたのです。）

▽写生（シャセイ）（じっぷつを見てそれを絵に書くこと。この生は〝生（なま）（1年45）〟で、「じっぷつをちょくせつ見て写す」ことをいみしています。「生を写す」こと。）

▽写本（シャホン）（本を書き写すこと。また、書き写した本のこと。いんさつのなかったむかしは、本は一さつしかありませんから、一さつ一さつ書き写すしかありませんでした。）

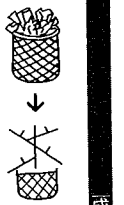
▽模写（モシャ）（ゆうめいな絵などを、ほんものそっくりに書き写すこと。模（6年1002）は、〝まねる〟こと。）

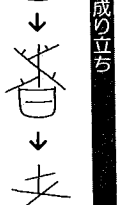
者

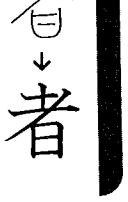
三年

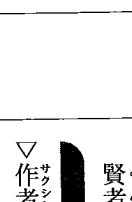
画数 8
筆順 耂 者
オン シャ
クン もの

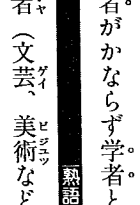
成り立ち

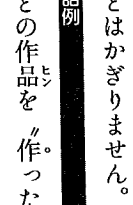












くず入れにくず物が入りきらないほどいっぱいつめこまれている形をあらわした字。「物がひどくいっぱいあること」をあらわした字です。

「物がひどく多い」といういみの字です。

今は、この字はたんに〝物（品物）〟のいみから〝人物（ジンブツ）〟という〝もの〟のいみにつかわれるようになりました。それで、〝物〟は〝品物〟の〝もの〟に、〝者〟は〝人〟のいみの〝もの〟につかいわけされるようになりました。

〔焜炉に焚き物が溢れるほど載った形、というのが定説だが、今の子供には通じないと思うので、右のように解した。〕

使い方

▽この文の作者は若者のようですが、ほんとは壮者かことによると老人かという気がします。

▽学者がかならず賢者であるとはかぎらないように、賢者がかならず学者とはかぎりません。

熟語例

▽作者（サクシャ）（文芸（ゲイ）、美術（ビジュツ）などの作品（ヒン）を〝作った人〟のことをいいます。）

▽若者（わかもの）（若い人のこと。〝青年（セイネン）〟ともいいます。十七、八歳（サイ）から三十歳くらいまでの人のことをいいます。）

▽壮者（ソウシャ）（壮は「いきおいさかん」なこと。三十歳から五十歳くらいまでのはたらきざかりの人のこと。）

▽学者（ガクシャ）（学問をしごとにしている人。また、ふかい学問のある人のこと。）

▽賢者（ケンジャ）（「賢い人（かしこ）」といういみのことばで、「人生のおくふかい道理（ドウリ）に通（ツウ）じた人」のことをいいます。〝賢人〟ともいいます。）

▽識者（シキシャ）（ふかい知識や見識をそなえた人のこと。ものごとによく通じていて、はんだん力がある人。〝有識者（ユウ）〟ともいいます。）